



神無月  
いき  
幻想曲  
夜の



神無月の  
幻想曲

こんにちはorはじめまして、習志野海盜団の武蔵屋長元坊です。このたびは「神無き月夜の幻想曲」お手に取っていただきありがとうございます。

ということで今回は「神無月の巫女」本一っ。最終話の姫子の愛情いっぱいなキスシーン&堰を切ったように泣き出す千歌音ちゃんのいじらしさに居ても立ってもいられず勢いで姫子×千歌音ラブ本(自称)を作ってしまった。

結構放送してない地域もあつたりするのですが、そんなのお構いなしーって感じでどうぞ最後までお付き合いくださいませー。



姫子が負けそうになったら  
自分が出て行ってオロチをやっつける



だから私は  
姫子の敵に  
ならなければ…

姫子に嫌われ  
なければいけな  
かったの…



私と一緒に  
いたら姫子は  
勝てない…

■私の真実受け取って■  
ほんとう



千歌音  
ちゃん…

だから  
あんなことを…



お願い  
千歌音ちゃんっ

こんなこと  
やめてっ

姫子…

私のために  
あんなことを…



さあ  
姫子っ

私とあなた  
二人だけの  
夜の始まりよっ

やめてーっ

千歌音ちゃんの  
イメージが  
壊れちゃうっ



一番  
姫宮千歌音っ  
安来節  
踊るわっ！

♪やすぎへん  
せんげん  
ぬあのも

いやあああ  
あああああ  
あああああ



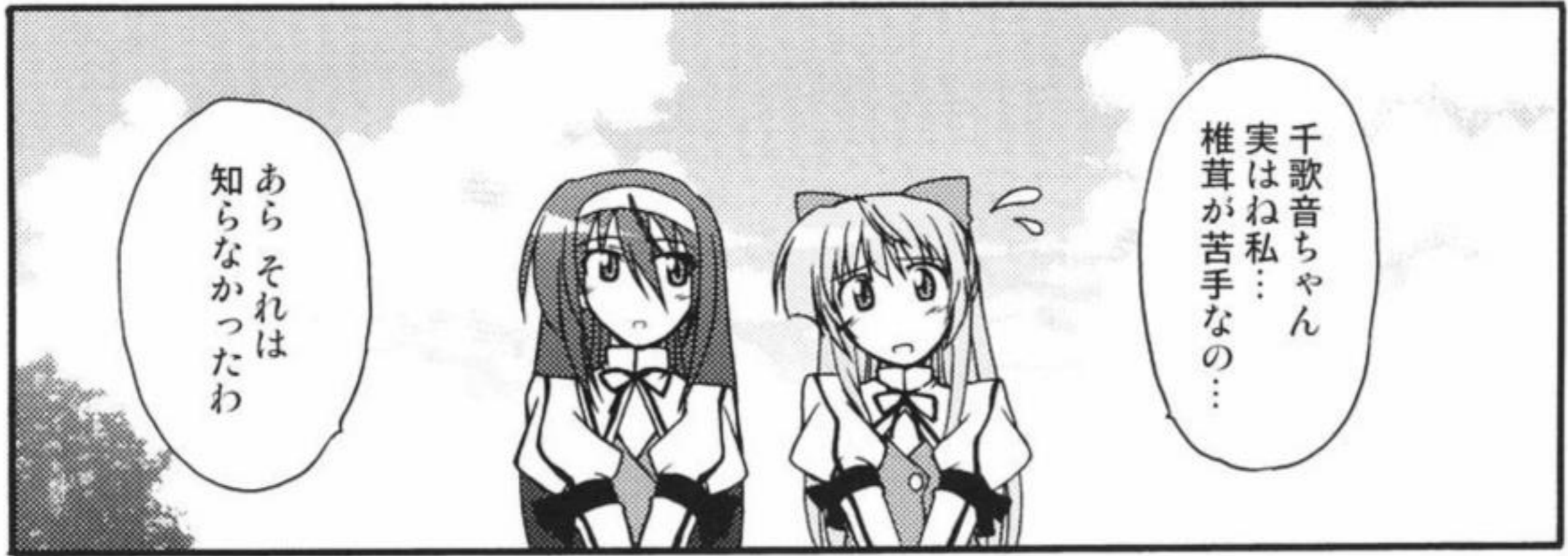
姫子に何を  
した姫宮ーっ

どばーん

秘密よ

■彼女もまた特別な存在だからです■





■ソーマくんのひとりでできるもん。









姫子ったら  
まるで赤ちゃん  
みたい...



はあ...

あ...ん



やっぱり  
恋人の方が  
いいな...

じゃあ...



姫子...



千歌音ちゃんに  
汚いところなんて  
ないよ...



だって  
やだ姫子  
だめよ  
そんなところ  
きたな...





やだ...  
はああんっ

ピンク色で  
すごく綺麗だよ...

ひ...姫子っ  
そんなに  
音たてないで...っ



すごいよ  
千歌音ちゃん

もうこんなに  
ビショビショ...



私ももう  
こんなに濡れ  
ちゃってるの...

姫子...  
その傷  
あの時の...



痛かった  
でしょ?

...うん

あの時は  
痛くて悲しくて  
すごく辛かった…

でもね

今は初めてが  
千歌音ちゃん  
本当によかった  
思ってるよ

姫子…

あむ…

クキョ

クキョ

はむ…

んむっ…

姫子おっ

はっ

んん…っ

ネキッ

ネキッ

ネキッ



あああんっ

くはっ

はっ



ずるずる

んあっ

あはあっ



あ...



気持ちいいよお  
千歌音ちゃん...

あんっ

あっ

ごごお...

はあ

あっ

ちゅ

じゅ

ぬ







だっ…だめっ  
あああっ



千歌音ちゃんっ  
一緒にいっ



千歌音ちゃんっ

はっ

あんっ

千歌音ちゃ…

姫子っ

あっ

ああっ

姫子おっ

はあっ

ああんっ



はあっああんっ

ふあっ

びゅっ  
びゅる



千歌音ちゃん...

姫子...

ぎゅっ

はー

はー

はー



そろそろ  
次に進んで  
いっすかね

あのお…  
お取り込み  
中のところ  
すみません…



ニヤニヤ  
おかし  
ホロホロ

いやあああ  
エツチーっ!!



おしまひ。

行間どころか空気読めてませんか私？

ということで最後までお付き合いいただきありがとうございました～。シリアスな話も考えてたのですがやっぱりこういうノリがうちかなーとかとか。

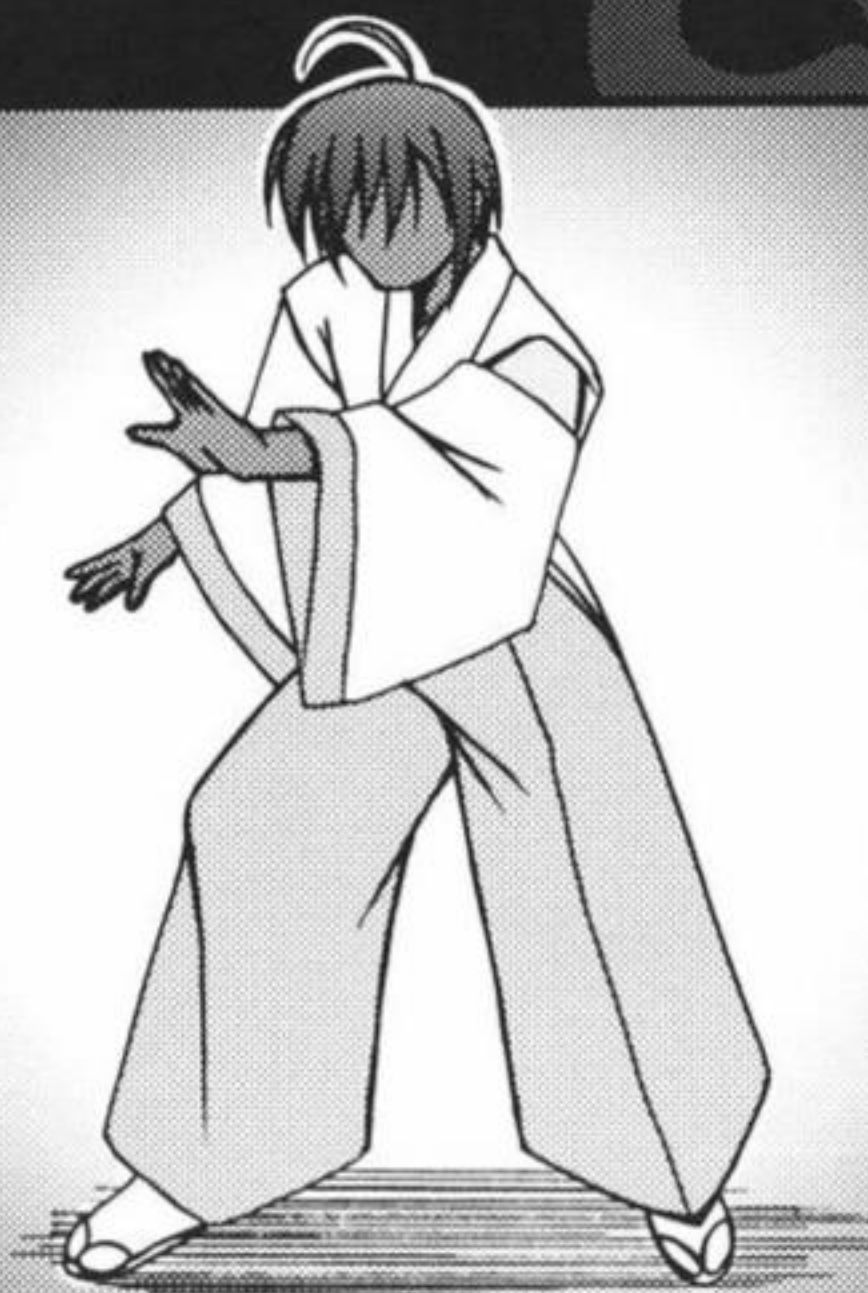
何はともあれこうやって好きな作品を本という形で思い出に残せるのはまさに同人冥利に尽きるといったところでしょうか。

今回もこの本をお手に取ってれたみなさん、そろそろブラックリスト入りになってもおかしくないのに刷ってくれた印刷所さま、そしてこんなに素敵な作品を創り出したスタッフのみなさんに心からの感謝を。ありがとうございました。

またどこかでお会いしましょう。

武蔵屋長元坊 拝  
2005年1月吉日

P.S. やっぱり千歌音ちゃんの髪はベタでいきたかったですねー



一方そのころ。



■奥付■

## 神無き月夜の幻想曲

発行：習志野海盜団 / 発行者：武蔵屋長元坊

発行日：2005年1月30日

(こみっく★トレジャー5)

印刷：緑陽社サマ

■無断複製・複写・転載を禁じます■





# 神無夜の 幻想曲

Kannazuki-no-Miko, Himiko Kurusugawa &  
Chikane Himemiya Fanbook. Presented by  
Chogenbo Musasaya.  
2005 Winter.